

# 世田谷たすけあいネットニュース



発行責任者:世田谷たすけあいネット 代表 大矢 和親



世田谷たすけあいネットは人の応援が欲しいとき「手をかして」と気軽に言える、「あったかな地域」づくりをめざしています。平成16年5月開始以来、高齢者の暮らしの困り事や悩みごとを解決すべく「無料で電話相談」にお応えして、情報の提供やボランティアの出張サポートを行っています。

## 世田谷 あんすこ訪問記

### 船橋あんしんすこやかセンター 第10回

訪問者 大矢和親

「寒」の真只中の1月中旬、船橋あんしんすこやかセンターをお訪ねしました。センターの事務所は昨年4月に新築されたばかりの新庁舎で、まちづくりセンター・社協地区事務局との3者共存で活動されています。

事務所に入って正面に長さ約10メートルの応接ローカウンターがあり、それを3者で使い分けられています。カウンター越しに職員の方々のお姿が見えるなど、雰囲気は極めて明るく広々と開放的な事務所です。

当センターの担当地域は、船橋の全域と、千歳台の半分で、所長以下7名のスタッフで活動されています。当日、応対して下さったのは、菅佐原所長と、介護支援専門員の白川さんでした。

案内された小部屋で最初に目に入ったのは「30年度スローガン」の掲示でした。それは、「地域の“あんしん”がここにある。地域で“すこやか”に暮らし続けられる。」というもので、当あんすこの目標は、お年寄りが安心して、永年住み慣れた地域で元気に暮らせるようにお手伝いすることにある、とのことでした。

担当地域の高齢化率は、世田谷区全体のそれより2%低いのですが、これは、主として千歳台に新しいマンションがどんどんできて、働き盛りの若い世帯が一斉に転入しているからです。一方船橋地区には、いくつかの古い大型団地があるので、高齢化率は低いが、高齢者の実数は急激に跳ね上がります。

当センターの特筆すべき活動として、まず、数年前からの取組で、二つの団地で、自治会や民生委員などと月1回のペースで開催する情報交換会があります。その情報交換会で話し合い、医師を交えての講座を住民向けで開催しています。前回のテーマは「認知症」でした。認知症の気づきについて学び、いざ認知症に罹っても、病状の進行を抑え対応に努める・・・35名の予定が53名の参加と大盛況でした。

次に「いきいき講座」と銘打ってまちづくりセンターと社協とあんすこの同室で活動する3者連携講座の開催があります。今回のテーマは「家で医療が受けられる(入門編)」で、たいていの人が希望する「在宅医療」について、実際に訪問診療・訪問看護に携わっている医師や看護師を交えての講座を計画しています。

最後に、たすけあいネットの活動についてご意見を伺ったところ、介護保険の対象範囲外の業務、例えば通院付添などの多種多様の業務についてボランティア料金での対応は、大変ありがたく、利用者からも喜ばれている。高齢者の不安や独り住まいの不安解消に、ますます頑張してほしい。そして、未開発の業務である「傾聴」について、何件かの需要があるので、取組を検討してほしいとのご要望がありました。

遅い時間の訪問でしたが、閉庁時間を超えても快く応対して下さったお二人に、衷心よりお礼を述べて、退出しました。

今月からボランティアの新しい仲間を迎えました。どうぞよろしくお願いたします。

●駒澤 重光さん (北沢地域)

電話相談日:毎週火曜日 10:00~17:00

ボランティアミーティング 3月12日第2火 12:30~

Tel 6379-1300 Fax 6379-1889

●相談日以外は留守電へ、こちらから電話します